令和元年度　研究推進だより

のびのび石川っ子

令和元年７月１９日

昨年度の重点研究では、「特別の教科　道徳」を中心に、「主体的・対話的で深い学び」とは、物事を自分のこととして考えたり、友達の意見を聞いたりする中で、自分自身のことを振り返ることを大切にした授業を進めてきました。

今年度の研究テーマは

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業づくり」

～道徳の授業を軸に、学習活動や学校生活とつなげて温かい人間関係を築く～

と掲げ、全学年で道徳的価値に迫る道徳授業実践を積み重ねることで、物事をいつも分のこととして考え、温かい人間関係を築いていくことを目指します。また、学習活動や学校生活が主体的で充実したものとなるよう、道徳的価値を意識した教育活動を計画したり、話合い活動を仕組んだりしていきます。

＜公開授業の様子＞　ひまわり学級　1･2 組

２学級になり、１・２組合同で行う小集団の活動、それぞれの課題に合わせた学習と時間を区切ってねらいをもって学習を進めています。

＜授業研究の様子＞　5年生 「かれてしまったヒマワリ」

【あらすじ】
主人公の男の子は、環境委員会の一員として花壇の水やりと腐葉土づくりの仕事を引き受け、初めは意欲的に取り組んでいた。しかし、徐々に自分の都合を優先させ、最後には学校の顔である花壇のひまわりを枯らしてしまい、自分の行動の無責任さを実感し反省する。

教材文を通読し、主人公の気持ちの変容を話し合います。

主体的に自分の考えを自分の言葉で話しています。

グループで話し合い、自分の考えを深めます。

今の自分について振り返って感想を書き、交流します。ワークシートはファイルに綴じて、学びをためていきます。

【児童の感想】

失敗すると自分を困らせることにもなるから、役割を忘れずきちんと仕事をやりとげたい。私は、放送を忘れず、みんなが健康で規則正しく生活できるようにする。

私は、マジック係になった限りはやろうと最初は思ったけど、やらなかった。これからは、マジックの練習をして、みんなにすごいと言われるようにみんなを楽しませて、自分でも自信が持てるように頑張ろうと思った。

打ち鳴らせ!